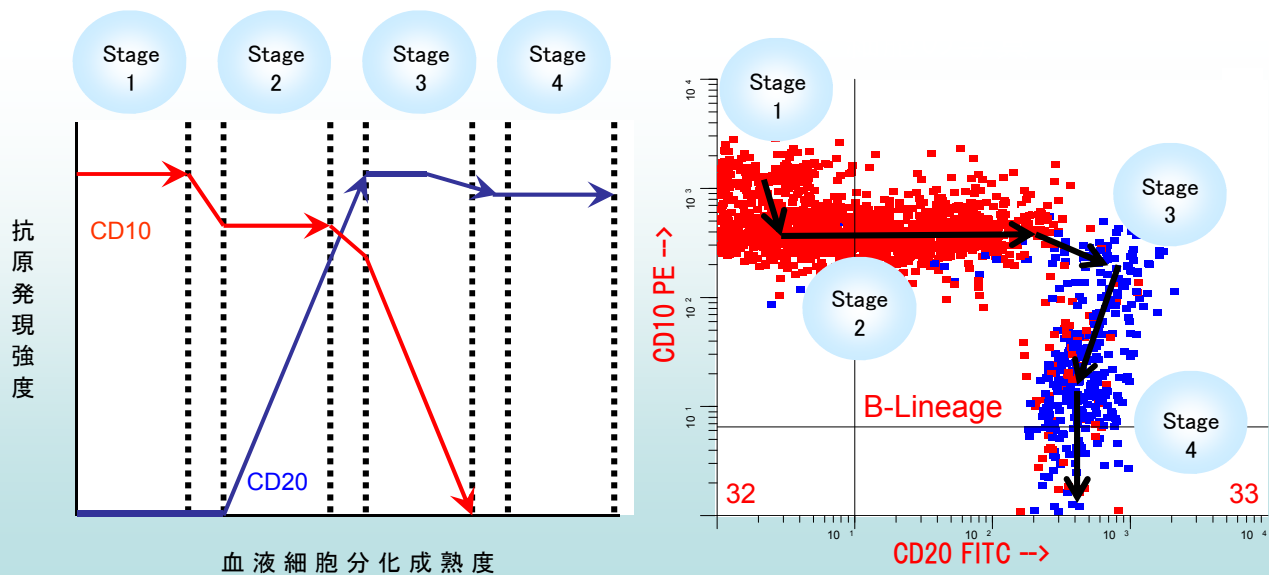


造血幹細胞移植後モニタリング検査(MDF)

再発予兆の予見に高感度のモニタリング



造血幹細胞移植後の寛解期において、微小残存病変を正確にモニタリングできる検査方法は今のところありません。MDF(Multi Dimensional Flowcytometry)は、移植後の細胞の成熟過程をフローサイトメトリーを用いて詳細にモニタリングする手法であり、正常な細胞の成長過程を解析すると同時に、微小残存病変の検出を行います。本検査は、USのFred Hutchinson Cancer Research Centerで開発された手法をベースに新たに改良を加えた検査方法であり、これまでに多くの施設でスタディが行われております。

特長

- 造血幹細胞移植後のモニタリング検査として有効です。
- 正常な細胞の成長過程の詳細な解析を行います。
- 既存の検査法(形態観察、遺伝子検査等)ではできなかった寛解期における微小残存病変の検出を高感度で行います

品番	検査名称	定価
RCCE012	MDF (Multi Dimensional Flowcytometry)	¥ 30,000
検体	骨髄1mL(ヘパリン)+10%FCS含有RPMI1640 1mL	
所要日数	3-5日	
送付方法	当社指定方法	

株式会社リプロセル

〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-8-11 KDX新横浜381ビル8F Tel:045-475-3887 Fax:045-474-1006

URL: www.reprocell.com E-mail: info_repro@reprocell.com